

行政調査報告書

沼田市議会議長 様

令和6年 3月31日

会派外議員

氏 名： 井上 弘

政務活動費を使用した行政調査について、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

1	期 日	令和5年10月4日（水）～5日（木）
2	調 査 地	・新潟県糸魚川市 ・石川県金沢市
3	調査事項	・SKフロンティア（アクアポニックス）視察 ・木の文化都市金沢の継承と創出について
4	参加議員	井上議員
5	調査概要	①調査目的、②調査内容等を記入（別紙で調査資料及び写真等を添付）
調査事項： 1. 新潟県糸魚川市 ・建設業による農業、水産業への進出事例 ・現地視察 2. 石川県金沢市 ・木の文化都市 ・木を取り入れたまちづくり		

6	所 感	調査後の考察（感想、政策提言、本市にどのように活かせるか など）を記入
		・SKフロンティア（アクアポニックス）視察（新潟県糸魚川市） 建設業者が地域資源を活用して異業種である農業、水産業に進出している事例について調査を行った。 現地を見せてもらい、話を聞く中で感じたのは地域のために何かをしたいという思いだった。異業種への進出は結果であり、豊富な湧水を活用した事業を検討していたところで、たまたま、わさび作りが始まり、さらにその水をただ捨てるのはもったいないということでチョウザメの養殖に繋がったようである。 もちろん、様々な努力と課題を乗り越えた上で成功したものであるが、わさび、チョウザメに関する事業を始めるために、地域資源である水を活用したのではなく、地域のために地域資源を活用しようとして、たまたまこれらの事業に行き着いたのではないか。 地域に愛着を持っており、地域資源についても詳しく、学校を始め様々な分野での連携ができた。事業が成功に結びついたのは、この部分が大きいと考える。 沼田市としても、地域の方々がより活躍できるように、地域人材の掘り起こしと支援にさらに力を入れる必要を感じた。 ・木の文化都市金沢の継承と創出（石川県金沢市） 沼田市は森林文化都市宣言をしており、森林、木を生かしたまちづくりを進めていく上で、哲学論や精神論だけでなく、実際に様々な計画、事業実施に踏み込んでいる市を参考にすると考える。 市内を開発エリアと保全エリアに分けて考えており、木を取り入れたまちづくりが進められているのは、主に保全エリア。観光誘致のために木を生かしたまちづくりと、生活しやすい開発が共存できているように感じた。 沼田市とは、歴史的背景や地形、人口と全てが違うが、考え方は参考になると考える。 沼田市では『森林文化都市宣言』について、哲学であり具体的にはできないという考え方をしているが、金沢市では、『「木の文化都市」とは、「木が持つ優れた特性を活かす持続可能な仕組みを備えた都市』として、 ・「木」にこだわり、まちの随所に「木」があるまち ・「木」が暮らしや生業に溶け込んだまち ・「木」が供給から活用まで循環するまち など、具体的に市民にとってもイメージしやすく示している。 まちづくり、地域づくりは行政だけではなく、市民と協力して行っていくものである。市と市民が同じ方向を向いてまちづくりを進めていくためには、市の根幹の方針を市民に分かりやすく示すことは非常に大事だと考える。 考え方だけではなく、金沢市では様々な木に関する事業が実施、積極的に発信、木のまちのイメージをつくっている。まちづくりにはイメージも大事なので、こういった戦略も参考にしたい。 また、木の文化都市条例も制定しており、市の積極的な姿勢と絶対に政策を進めていくんだという覚悟がうかがえる。沼田市としてもぜひ見習いたい。